



2022年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ  
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美  
(コード番号：4881 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 林 毅俊  
(TEL. 03-5315-4200)

### 次世代創傷用洗浄器開発を目指した 株式会社サイエンスとの共同開発契約締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社サイエンス（大阪市淀川区、代表取締役社長：水上 康洋、以下「サイエンス」）との間で、次世代の創傷用洗浄器開発について共同開発契約を締結することを決議いたしましたのでお知らせします。

#### 1. 本共同開発の目的及び内容

サイエンスは、ファインバブル技術のリーディングカンパニーとして、微細な気泡ファインバブル（ISO 国際標準規格における気泡径 100 $\mu$ m 未満の気泡：1 $\mu$ m~100 $\mu$ m 未満をマイクロバブル・1 $\mu$ m 未満をウルトラファインバブルとする）を活用した製品群において「ミラブル」に代表される洗浄力や肌への浸透性に関するノウハウを有する企業です。サイエンスは、一般消費者市場への製品展開のみならず、農業分野や工業分野または食品分野など様々な市場に向けて研究開発を行なっている企業であり、医療分野に関しても、ファインバブルの適合性が高い分野として数々の取り組みを行なっています。

当社は、大阪大学大学院医学系研究科の研究成果に基づき、機能性ペプチドの実用化に向けた研究開発に取り組んでいる大学発ベンチャー企業です。主力の医薬品分野においては皮膚潰瘍治療薬や乾癬治療薬について国内外で臨床開発を進めておりますが、これに加えて、その他の化粧品やヘルスケア分野においては事業会社との提携によって機能性ペプチドの幅広い分野での実用化を図っております。

我が国では高齢化社会を迎え、寝たきりの高齢者に発生することが多い褥瘡等の皮膚潰瘍の治療の重要性が増しております。皮膚潰瘍治療においては、創面の細菌や壊死組織等を取り除いて創傷治癒を促進するため、創部を十分に洗浄して清潔に保つことが重要です。しかしながら、感染の危険性のある場合や抗生剤耐性菌に感染している場合などは、既存の治療薬を使用できず、潰瘍治療が困難なケースが多々あります。そのような場合には、まず傷口の感染コントロールが重要ですが、既存の方法では十分行えないことがあり、新規治療が必要とされています。今回サイエンスと共同開発する創傷用洗浄器はこのような感染コントロールが困難な患者様に対する新たな治療法を提供できるものと考えております。

本共同開発では、サイエンスのファインバブル技術を用いた創傷用洗浄器に、当社の抗菌作用を示す機能性ペプチドを組み合わせて用いることにより、洗浄力の高い新規創傷用洗浄器の開発を行います。本医

療機器の開発により、褥瘡や糖尿病性潰瘍などの皮膚潰瘍の早期治癒が可能になることを期待しております。当社では、今後も皮膚潰瘍の治療方法の開発を継続して行い、困難な病気に苦しむ患者様に役立つ治療法を届けていきます。

## 2. サイエンスによる当社株式の取得

サイエンスは、本件に関連して、当社既存株主から当社発行済株式を市場外の相対取引を通じて譲り受ける予定です（最大約 50 万株（2022 年 1 月末時点の当社発行済株式総数に対する割合： 2～3%））。

## 3. 今後の見通し

本共同開発による 2022 年 12 月期の業績への影響は軽微です。

### 【株式会社サイエンス】

設立：2007 年 8 月

代表取締役社長：水上 康洋

資本金：3,000 万円

本社：〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-5-15 新大阪セントラルタワー北館 5F

TEL. 06-6307-2400（代表）

<https://i-feel-science.com>

以上